

縄文題材に缶バッジ

矢石考古館 イベント 子どもたちが製作

茅野

茅野市矢石
縄文考古館は

20日「縄文を染もう缶バッジ」を同館で開いた。小学
生以下を対象に、同市内の縄
文遺跡から出土した土器や土
偶をモチーフにした塗り絵を
して、オリジナル缶バッジを
作るイベント。子どもたちが
好みの絵柄を選んで塗り、缶

バッジに仕立て持ち帰った。
塗り絵は国営土偶「縄文の
ビーンズ」「仮面の女神」をは
じめ、縄文土器、耳飾りなど
遺物10種類をモチーフに、12
種類の色柄を用意。子どもた
ちは中から1枚を選び、色鉛
筆で自由に色を塗り、オリジ
ナルの缶バッジを作った。

参加者には、モチーフとな



縄文時代の土器や土偶の塗り絵で缶バッジを作る参加者

った土器や土偶を解説した冊
子を配布。同館展示室を巡っ
て実物を見学し、シールを7
枚集めた子にオリジナルしお
りをプレゼントした。
「ビーンズちゃん（縄文のビー
ンズ）を選んで」という同市玉
川保育園年中児の西角凜香ち
ゃん（ら）は「楽しかったかい、
もう1個作りたいか」とかば
んに付けたい」と喜んでい
た。同館は「子どもたちに気軽
に縄文に触れてもらう機会に
なれば」と話していた。